

果樹病害虫発生予察調査結果（9／8調査分）
（三条、加茂、田上地域）

9月8日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共 通）

- ナシ園地において、9月1半旬にナシヒメシクイの誘殺数が急増し、モモ新梢の芯折れも確認されています。収穫期が近い品種へのドリフトに注意しながら防除を実施しましょう。
- 気温低下や降雨により、ハダニ類の寄生は減少しましたが、多発生した園地では9月中旬頃までに主幹や主枝基部に古布や古新聞を巻き付けて12～1月に外すバンド誘殺を行い、越冬数を減少させましょう。バンド誘殺はカイガラムシ類の越冬数減少にも効果的です。

（ナ シ）

調査地点ごとに5新梢を調査しました。

- これまでは猛暑で黒星病の発病が抑えられてきましたが、今後は気温低下や降雨により、芽基部病斑が増加する恐れがあります。翌年の感染源を減少させるため、収穫後の防除や落葉収集を実施しましょう。
- セイヨウナシ褐色斑点病の発病葉は増加が続いています。また、前年にごま色斑点病が発生した園地では今後の発生に注意が必要です。薬剤防除やり病部位の除去を継続しましょう。

（モ モ）

調査地点ごとに5新梢を調査しました。

- せん孔細菌病は全ての地点で葉での発病が確認されています。越冬密度を低下させるため、落葉期まで防除を実施しましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房を調査しました。

- 一部でチャノキイロアザミウマ被害果や晩腐病り病果が確認されています。また、輪紋病り病葉も確認されています。収穫期に注意しながら防除を実施しましょう。

※台風が多い時期に入りました。被害が予想される場合、風雨対策として防風網や果樹棚の補強、排水路の整備等を行いましょう。

◇ 次回調査は9月25日(月)です。

| |
|---|
| 担当 : 中越支所 果樹共済係 TEL : 0258-36-8105 FAX : 0258-34-8020 |
|---|